

土浦の自然を守る会 第二回総会の報告

七月十九日、午後六時半〜九時半まで。内西町の箱田ドレスメーカー三階で開催されました。出席者は二十名と、百三十名余の会員数にしてはちょっと寂しい総会でしたが、内容は充実し、これまでの当会の活動の反省、今後の方針等について、いろいろと討議が交されました。

一、挨拶 荻沼先生

二、一年間の活動経過報告。村山なほ美
機関誌「桜川」にもとずいて報告。

「桜川の自然公園化」については、土浦市及び茨城県が、六号国道から虫掛橋間の都市公園実現に努力しており、他の区間に関しても、県及び市の土木課、体育課、教育委員会などが、サイクリング道建設の方向で検討中であり、実現の可能性が十分にあると報告。

三、会計報告。助川須子

後に表記してあります。

四、反省

◇出席者に共通する反省は、環境問題に関しては大いに関心を持ちながらも、仕事に追われてなかなか

活動に参加出来なかったのが残念である。との意見でした。

◇若い人、特に中学生、高校生の反応が薄く、これは当会のイメージが固い印象を与えるのか、それとも一般に若い人は自然保護に対して無関心なのか、という意見が後藤道和先生より出され、今後は、中、高校生にも積極的に働きかけていこうという事になりました。

◇桜川、霞ヶ浦、北筑波と、活動範囲が広くなり、会員の負担も次第に増えて来ているので、今後は少し焦点をしぼって、いこう、という意見も数多く出ました。

五、今後の方針

「桜川の自然公園化の推進」と、「霞ヶ浦問題」を二本の柱にして活動を進めてゆくと、いう方向づけが決定。

当面の活動としては、

一、新川の清掃（環境を守る土浦市民会議の、新川ノ
ゴミ作戦）に参加を呼びかける事。八月十九日
（日）

一、映画「水俣」の上映。九月八日（土）
これには、中沢裕子さんが責任者となり、前巻等